



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

2002年10月1日発行 第33号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

パネビアンコ & デル・モナコ

スペインギターが、ラテンアメリカのリズムに溶け込む独自の世界！

スペインギターの夕べ

前売り券好評発売中！お早めにお求めください！！

AIYES通信32号や、協会公式ホームページで紹介していますように、来る10月10日（木）、スペイン人とキューバ人からなる新進のギターデュオが来日し、横浜で演奏会を開催します。

横浜スペイン交流協会では、スペイン大使館、神奈川新聞社、TVKテレビ、FMヨコハマの後援を得て、この演奏会を主催します。

ただ今前売り券を、演奏会場の横浜みなとみらいホールチケット売り場で発売中です。また、郵便振替でもお求めいただけます。

会員の皆さま、ぜひともお知り合いの方々をお誘いの上、ご来場ください。



●日 時：10月10日（木） 18：30開場 19：00開演

●場 所：横浜みなとみらい小ホール

●料 金：前売券 会員1人2,000円 非会員1人2,500円 会員・非会員共ペア券4,000円
当日券 会員・非会員共1人2,500円

●チケットの購入方法：横浜みなとみらいホールチケット売り場。あるいは、下記口座へお近くの郵便局から料金をお振込みください。「払込金受領証」と引き換えで当日開場2時間前から、座席券をお渡しします。

●振込み口座番号：00290-7-21774

●振込み先名義：横浜スペイン交流協会

●通信欄記入事項：「スペインギターの夕べ」チケット〇〇人分
恐れ入りますが、振込み手数料はご負担ください。

●問い合わせ先：

廣瀬：

宮崎：

安田：

高柳：

●協会ホームページ開設

協会のホームページができました

Web委員会の皆さんのご努力で、念願の協会公式ホームページができました。8月7日より正式に公開しています。

URLは次の通りです。 <http://www.yokohama-spain.org>

次号の「AIYES通信」が発行されるまでの間、協会からのお知らせや会員の動向、スペインに関する最新の情報などを掲載の予定です。ご利用ください。

協会ホームページ制作雑記

—— 村田 誠 ——

ひょんなことから横浜スペイン交流協会のホームページ(HP)作りに携わることになりました。パソコンを触ることには抵抗はなかったのですがまったくホームページなるものを作ったことがなかったので、新入会員の高橋登さんはじめWeb委員皆さんのご協力で2カ月がかりで完成させました。

いままでいろいろなHPを見ていてどうせ作るならこんなものにしたくないな、というのを反面教師に作成しました。それは次のようなものです。

1) メニュー画面表示が遅い

美しく楽しい画面にするため、動画を入れたり、音声を入れたりすると画面表示が遅くなります。一度なら良いですが頻繁にアクセスしてもらおうと思うHPにはすぐに表示される方が優先されます。

2) 情報の内容が正しいのかどうか分からない

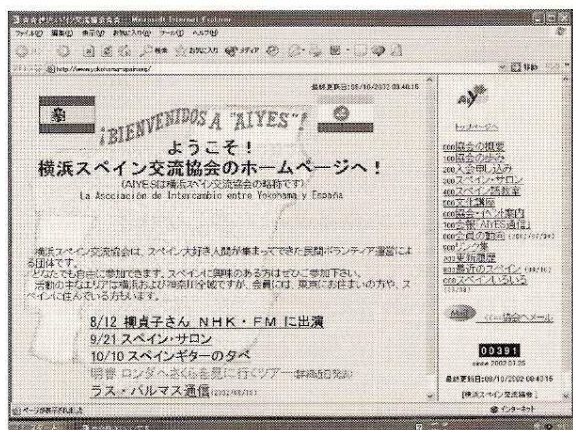
更新しない画面があると全体の信頼性を失います。内容を常に最新にする体制を作るとともに、画面に更新日を表示することで読者にも内容の信頼性の判断材料にさせていただくようにする。

3) 自分の見たい画面がどこにあるか分からない

自分の見たい情報がどこにあるか、分かりやすい展開にするとともに、随所にリンクを張りメニュー画面を常に表示するようにする。



▲待望のHPが完成! Web委員の村田会員(右)と高橋会員(左)



出来上がったものを見ていただいたと思うのですが如何でしょうか?

意図することが出来上がっているのでしょうか?

HPを立ち上げて終わりではありません。これからが始まりです。皆さんからの情報提供をお待ちしております。[協会へメール]のボタンを気軽に押してご意見・アイデア・情報をお送りください。このHPはみなさんのものです。

◀協会ホームページのトップページ

***** スペイン・サロンへのお誘い *****

本年度10、11月度のスペイン・サロンのご案内をします。お知り合いや友人をお誘い合わせ、多くの皆様のご参加をお待ちします。協会会員以外の方のお越しも、心よりお待ちしております。

サロンは原則として、毎月第3土曜日の午後2時30分から開催いたします。会場は、月によって変更されることがありますので、『AIYES通信』や、協会公式ホームページ (<http://www.yokohama-spain.org>) 等で

ご確認の上、お越しください。

なお、12月のスペイン・サロンはお休みです。ご注意ください。

●2002年10月度例会

日 時： 10月19日（土）14：30～16：30

場 所： 県民サポートセンター7階／711号

テーマ： 我らの『ガウディ』

講 師： スペイン大使館文化担当参事官

今年はアントニオ・ガウディ生誕150周年です。そこで彼の母国スペインでは、ガウディ・イヤーとして各種のイベントが催されています。スペイン大使館文化担当参事官のイグナシオ・アギーレ・デ・カルセルさんにガウディについて語っていただきます。氏の日本語はまことに流暢です。

参加費： 会員 1,000円 非会員1,200円（茶菓代を含む）

●2002年11月度例会

日 時： 11月16日（日）14：30～16：30

場 所： 県民サポートセンター7階／711号

テーマ： 『イスラムスペインの輝き』（中世スペインの歴史）

講 師： 小西 章子さん

小西章子さんは知る人ぞ知る、「スペイン子連れ留学」「スペイン女王イサベル」などの著書を出され、読む人を虜にする文筆家です。

お話もさぞや聴く人を引き込むことでしょう。乞うご期待！

参加費： 会員 1,000円 非会員 1,200円（茶菓代を含む）

お願い： 大勢の参加者が予想されますので予約制といたします。先着42名で締め切りますので、出来るだけ早めに下記委員にお申し込みください。また、協会のe-mail (support@yokohama-spain.org) でも受け付けています。

●2002年12月度はお休みです。

担 当： 宮川美句子

鎌田 暁子

大竹智栄子

牧瀬 貢

文化の香り スペイン・サロン

6月のスペイン・サロン

『スペイン美術館めぐり』何ととってもスペインは歴代の世界的画家を輩出した国、美術館も多く、今回のサロンでは興味を持つ人々で満員、立ち席の人が多く出て2時間が本当に短く感じられる程でした。

今回は、横浜美術館の館長であられ、当協会の会員でもある雪山行二さんにプラド美術館についてお話して頂きました。

雪山さんはプラド美術館に一年半に亘り駐在し、仕事をされたとかで、プラド美術館が建設された歴史、そしてスライドを使って多くの作品が描かれた歴史的背景、時代の移ろいの環境から生まれた傑作、ボッス、ペロネーセ、グレコ、ルーベンス、ベラスケス、ゴヤ等々の数多くの画家の心境分析にいたるまで詳しく話していただきました。

最後にゴヤの宮廷画家としての作品集の説明、特に謎多き名画の宗教裁判にまでかけられた美術史上最初の「裸体画」の話は圧巻でした。

次回は、是非ゴヤについてもっと詳しく焦点を合わせて講話をして頂きたいと思いました。

報告者：牧瀬 貢

7月のスペイン・サロン

『スペインについて話そう』というテーマで多くの会員の方々に貴重な体験をお話いただくとの趣旨で、



▲満員の参加者を魅了した雪山会員（左）のお話

今回はCosta del Solについての体験談を各会員の方々から報告していただきました。

根岸ご夫妻は昨年まで8年間Costa del Solを中心に毎年2～3ヶ月の滞在を繰り返されているとのこと。羨ましい限りです。渡邊さんはご夫婦で6年前にMálagaのスペイン語熟年コースを受講され、今年の8月からはSalamancaでのスペイン語講習会を受講されるなど、積極的にスペインとのかかわりを深めておられます。

何人かの会員の報告の後、スペインでのロングステイに関心をもたれている方が数多くおられ、現地でのPisoの値段、滞在費、過ごし方、などについて活発な意見交換がありました。特に、病気や怪我の場合の旅行者や現地滞在者に対する医療制度の現状については、スペインへのロングステイを考えておられる会員の方々も多々おられるでしょうから、ロングステイに関する情報交換会などを今後、企画されてはいかがかと思います。鎌田さんのMadrid滞在中に頭を切られた恐怖体験などを聞くにつけ、海外では日本よりも格段と危険リスクが高くなりますので医療保険、盗難保険などについての事前の情報収集が必要です。

話題が尽きず、盛り上がったスペイン・サロンでしたが、やはり、スペインは物価も安く、費用対効果の高い国であり、我々を魅了してやまない国というのが多くの会員の皆様の思いとの印象を受けました。

報告者：宮岡栄一



▲貴重な体験談が続々7月のスペインサロン

***** 文化講座からのお知らせ *****

新文化講座 絵画教室開講のお知らせ

いよいよ文化講座「絵画教室」が、11月よりはじまります。

指導は、当協会会員で、スペインをモチーフに活躍されている島津豪亮画伯です。日時・場所・参加費等は下記のようになっています。人数に限りがあります。係りまで、お早めにお申し込みください。

日 時： 毎月 第1土曜日 午後1時30分より2時間程度

場 所： 島津豪亮画伯アトリエおよび付近でのスケッチ

参加費： 1回2,000円（会員） 2,500円（非会員）

●申し込み、問い合わせは、担当理事へ手紙またはFAXで

「スペイン音楽サロン」へのお誘い

●第2回（10月）スペイン音楽サロン

日 時： 10月8日（火）13:30～15:30

場 所： かながわ県民サポートセンター 7階／712号

テーマ： ラバビエの床屋 第2幕・第3幕を聞きます。

会 費： 会員 1,000円 非会員 1,200円（飲み物付）

●第3回（11月）スペイン音楽サロン

日 時： 11月12日（火）13:30～15:30

場 所： かながわ県民サポートセンター 7階／706号

テーマ： ヘーネロ・チーコの傑作「ラ・グラン・ビーア」を聞きます。

会 費： 会員 1,000円 非会員 1,200円（飲み物付）

- 配布資料準備の都合上、出来れば参加希望者は事前にお申し込みください。もちろん 当日飛び入りの参加も大歓迎です。
- なお、12月、1月はお休みです。
- 申し込み／問い合わせ先： 安田 秀之

「押し花教室」のご案内

「押し花教室」は当協会が、スペインとの交流の一環として「ふしぎな花俱樂部」の新しい方法で「押し花」を、スペインの方々に広めようという事から始まりました。

「押し花」は他のものと比べてどなたにも入り易いものですが、続けているうちに想像力がだんだん膨らんで、デザインを考えたり、その応用などにもいろいろと思いついて楽しくなるばかりか、今まで見過ごしていた小さな花や、個性的な花にも興味が湧いてまいります。

この半年の間の作品をいくつかご紹介しますと、「クリスマス・カード」「年賀状」「テーブル・キャンドル」、「ウェルカムボード」、「団扇」その他、定番の額縁に絵画のようにあしらったりもしました。このように毎回異なったテーマ、方法で気軽に楽しんでおります。

受講者の今までの作品を、数点ご紹介します。ご覧になって少しでもご興味をもたれましたら、ぜひともご参加ください。お待ちしております。

なお、この作品は協会公式ホームページ（URLは下記のとおり）では、カラーでご覧いただけます。

<http://www.yokohama-spain.org>



▲押し花教室の作品「ウェルカムボード」

●次回の予定

日 時： 9月30日（月）13：00～15：00

場 所： 県民サポートセンター7階／701号

会 費： 2,000円（この他に材料費として1,500円程度がかかります。）

ご希望の方は、下記担当者にご連絡の上ご参加ください。また、自由に見学もできます。

●申し込み／問い合わせ先： 廣瀬 孝子

第2回スペイン料理の会

今回のテーマは「天正少年使節団（1582年出発）がスペインで食べたもの」と言うことで、スペイン料理「オリブ」の中村シェフに当時の文献を頼りに、想像力をスパイスに、当時の料理を再現して頂きました。

1585年に出版された大変貴重な料理書で、一部手に入らない材料（鮫）は今手に入るもの（鰯）に置き換えましたが、とてもさっぱりとしていて、幾らでも食べられそうな気になりました。

料理は、蕪とチョリソのスープ、鰯のソテー、鶏の香草焼き（報告者は何時もは鶏を食べませんが、これは絶品でした！）。一緒に出されたワインは「リオハ」の赤。これが料理にとってもよいハーモニーを醸しだして、ご参加頂いた16名の皆さんは至福なパリ祭（7月14日）の午後のひと時を過ごされました。



▲気分は少年使節団、想いを16世紀に馳せ料理を楽しむ

スペイン語教室紹介第5回 新聞・雑誌を読む会

当協会にて主催しているスペイン語教室のうち、今回は「新聞・雑誌を読む会」を紹介致します。毎月第四土曜日、産業貿易センター9階にて10時15分より11時45分まで、栗山由美子講師のご指導のもと行っております。

この教室の目的は、先生が予め用意して下さるスペインの雑誌「*Cambio 16*」の記事を読み、それを通してスペインの社会問題や文化、スペイン人について理解を深めることです。ちなみに最近のテーマはスペインの失業問題、ヨーロッパ議長職を務めるアスナール首相の課題、国内観光の利用、移民問題、E T A、新通貨ユーロなどです。

既に5年間継続している教室ですが、それと言うのも単に記事を読むだけでなく、海外生活を送った方々の現地での体験を聞いたり、参加者の豊かな経験と高い見識に触れたり、あるいは栗山講師の翻訳文を聞き、頭を覆った雲が一辺に晴れる爽快感を味わえるからです。

一度この教室に参加された方はご存知の通り、訳文の難しさに誰もが四苦八苦します。しかし皆の討論の結果、難しい個所が解明された時の喜びは例えようもありません。たまたま分らない所を当てられたとしても、何の遠慮もなくパス出来ることが、この教室の魅力の一つになっています。

月に一度とはいえ教室が終わった時の充足感と安堵感が、翌月への挑戦へとつながって行きます。そして授業終了後にはもう一つの楽しみが待っています。それは皆で近くのレストランへ行き、楽しい一時を過ごすことです。

現在のところ教室は満席に近くなっておりませんが、スペイン語の習得とともにスペイン事情にご興味のある方は、是非お気軽に教室を覗きにいらして下さい。

(クラス受講生 川島 昭芳)



▲難問もまた魅力、終われば気分爽快「新聞・雑誌を読む会」

会員投稿

ワールドカップ横浜市通訳ボランティア活動報告

宮崎 紗伎

ワールドカップの日韓共催が決定した時、この世界的なイベントに何らかの形で関わりたいと思った。昨年春、横浜市が通訳ボランティアを募集しているのを知り、早速応募してみた。書類選考、語学別面談テストを経て、運良く採用通知を手にすることが出来、昨年の9月から始まった幾度かの研修を受け、実際に活動が始まったのは、5月17日からだった。

初日の活動場所は桜木町駅前の案内所。メディアセンターはすでに開設されていたが、外国人の姿は皆無。対応する相手は日本人ばかりで、赤レンガ倉庫街など、駅周辺の観光スポットの案内で一日が終わり、2日目も同じような状態だった。

5月27日から活動場所は横浜駅のコンコースに設置された特設案内所に移った。その頃になると南米各地のメディア関係者が案内所を訪れるようになった。活動中私たちはユニフォームの胸に、対応言語を示すワッペンを付けていた。南米人達はそのワッペンを見て、Español! と嬉しそうに駆け寄ってきて、旧知の間柄のように話し始める。大きな声と大きな身ぶり。彼らは、とにかく賑やかだった。エクアドルから来日しているという3組の



▲ワールドカップボランティア案内所で対応する宮崎会員

カップルは6月3日の札幌でのイタリア戦を観戦した後横浜に入り、東急ホテルに宿泊し、6月9日の宮城でのメキシコ戦、13日の横浜でのクロアチア戦を観戦するのだと言っていた。宮城スタジアムまでの切符の手配に長時間付き合わされたが、翌日彼らが、彼女に頼めば安心だよ、と言って5人のメキシコ人を連れて来てくれた時は本当に嬉しかった。ただ、Billete=Boletoのように、スペインで覚えた単語と、南米の表現の違いに戸惑いを覚えることはあった。

アルゼンチンなど、スペイン語圏の国々が次々と敗退したにも関わらず、スペイン語の需要は結構多く、ボンヤリしている時間などなかったが、せっかく応募したにも関わらず、語学が活かし切れず幻滅してやめていった人もいたらしい。

6月13日、桜木町駅の案内所の業務開始と同時に、Español! Español!と言って男性が飛び込んできた。彼は、エクアドルの選手の弟で、クロアチア戦の入場券を兄からもらうことになっているが宿泊先がわからないので教えてほしいということだった。横浜市の職員が関係機関に連絡したのだが、選手達の宿泊場所は教えてもらえず、競技場で待つしかないということになったのだが、彼は無事に観戦出来たのだろうか。

6月14日の日本対チュニジア戦の時は、8時まで横浜駅で活動していたのだが、日本が勝った時、構内の警備員が私たちに、おめでとうございます、とわざわざ言いに来てくれた。お蔭さまで、と思わず言ってから、おかしくてみんなで笑ってしまった。

その日は私の誕生日。生涯忘れられない誕生日となった。

6月21日、Barcelonaからだという女性が、都内観光の相談に来た。一人旅のようだった。皇居と浅草に行くつもりだと言って去って行く彼女を見送った後、迷惑でなかったら、一日都内を案内しましょう、となぜ言わなかったのかと、後悔することしきり。残念だった。遠い昔、一人でスペインを旅していた時、見ず知らずのスペイン人達から沢山の親切をもらった。今回通訳ボランティアに応募したのも、今まで受けた親切への恩返しを少しでもしたいと思ったからだだったのに・・・

6月29日、横浜市長主催のレセプションの受付のお手伝い。残念ながらレニャ大使はお見えにならなかった。

6月30日、案内所の前は朝から人でごった返し、喋りまくり喉はカラカラ。午後、活動が終わった時はくたくただった。だが一方で立ち去り難い寂しさを感じていた。W杯の熱気にどっぷり浸った1月半。貴重な経験が出来たことをとても嬉しく思っている。

柳 貞子さん クリスマスコンサートのお知らせ

今年もまた、当協会参与の柳さんが下記の通りクリスマスコンサートを開催します。

日 時： 12月12日（木） 18：30開場 19：00開演

場 所： 麦酒記念館（恵比寿ガーデンプレイス内）JR山手線、地下鉄日比谷線「恵比寿」
下車徒歩約7分

入場料： 5,000円（但し、横浜スペイン交流会員に限り、10%Off）

●申し込み／問い合わせ先： TEL & FAX 042-734-5569

//////////////// 新入会員紹介 //////////////////

竹山健太郎 (Kentaro Takeyama) 2002年6月10日入会

鎌倉市長谷

鎌倉長谷駅前スペインレストラン「パラドール・デ・かまくら」を経営しています。この地で商いを始めてすでに6年、いままで協会の賛助会員でしたので、多くの会員の皆様とは長いなじみがあります。

私は今年で古希を迎え、そろそろ心身ともに疲れてきました。そこで、現在のお店をそのまま引き継いでくださる方がおられたら、お譲りしたいと思っています。食文化を通じて、スペインを究めたい熱意のある方のお申し出を待っています。

高橋 登 (Noboru Takahashi) 2002年7月1日入会

横浜市神奈川区

欧州には以前から興味がありました。太陽の光がさんさんと降り注ぐ陽気な国スペイン。その国と日本国の交流の一助になればうれしいと思い、入会させていただきました。

諸田京子 (Kyoko Morota) 2002年7月20日入会

東京都目黒区

スペインのセビージャで勉強してまいり、現在フラメンコの歌手をしております。また、フラメンコの正しい知識を広めるために、フラメンコ理論のクラスも開講させていただいております。皆様とスペインの文化・音楽についてお話しさせて頂ければ幸いです。

大河原潤一 (Junichi Ohkawahara) 2002年7月25日入会

横浜市中区

海外視察のおり、ローマでイタリア旅行中のスペインの方と知り合いました。1999年、スペイン旅行をしました時、この方に再会し、アルハンブラ宮殿の夜景を見に行きました。

現在、NHKのラジオ講座でスペイン語の初歩を学んでおります。将来、友人が日本を訪ねる時に備え、語学力をつけると共に、両国間の友好に多少でも役立ちたいものと思っております。

西川貞子 (Sadako Nishikawa) 2002年7月30日入会

横浜市戸塚区

バルセロナオリンピックの翌年、初めてスペインを旅行しました。スペインの人々の暖かい人柄にふれ、彼らが日本人に対し関心が高いことに驚きました。帰国後数年たち、スペイン語を習い始めました。ただ今は、エミリオさんのクラス生です。

昨年北スペインを旅し、ロマネスクの建築物を見て感動しました。

－賛助会員各社の会員サービス内容－

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より、表記のサービスが受けられます。

賛 助 会 員	住 所	電 話 番 号	会 員 サ ー ビ ス 内 容
レストランオーリーブ	横浜市中区高島2-5-10	045-441-4996	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	カサ・デ・フジモリ関内本店前	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ目黒店	J R目黒駅(東京) 徒歩5分	03-5420-5328	サングリア1杯無料
太陽海外航空(株)	東京都中央区京橋2-2-14 山陽アネックスビル	03-3281-2441	成田空港使用料の負担
メイプル・ノブ	横浜市神奈川区西神奈川1-6-1 サクラビル701	045-321-5638	押し花材料代10%割引
日西商事(うさぎのいる島)	横浜市戸塚区品濃町252-3	070-5024-8196	ワイン1杯無料

【訂正とお詫び】

AIYES通信32号(7月1日発行)お届け時に併せ、本年度の会員名簿を同封させていただきましたが、この会員名簿に下記のとおり誤りがありました。ここに訂正し関係各位に深くお詫び申し上げます。事務局

(誤)

川口三郎 参与
福田 進

(正)

参与の2文字を削除
参与の2文字を付加

＜編集後記＞ 待望の協会ホームページが開設され、これにより会報と合わせてより多くの情報をお届けできるようになりました。そして同時に、全世界に協会がデビューしたわけです。日本のみならず、世界の人々が身近に感じる横浜スペイン交流協会にしたいものです。

文化講座の押し花教室の担当などでご活躍された伴野忠子会員が8月8日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

* 投稿寄稿宛先

横浜市青葉区しらとり台
横浜スペイン交流協会会報係